

『盈たして進む IV』



1 学期の思い出…



夏休みの間、子ども達はどんなふうに過ごしているのでしょうか。

久しぶりに会う親戚と遊びまくり！ 長期旅行で新しい発見！ 社会体育で鍛えられる毎日！ 宿題と手伝いで規則正しい生活！ まさか、寝てばかり…なんてことはないでしょうね。今日は、子ども達が3週間ぶりに登校し、平和集会を行いました。その様子は、次回の学校だよりでお知らせしたいと思います。

今回は、1学期にお伝えできなかった取組の紹介です！

〈ふれあい音楽集会〉

敬老会などで活動されている「津軽三味線椿」の皆さんが、今年も演奏を披露してくださいました。

「きっかけが、そがんに練習できんとよ。」と笑いながら話されていましたが、素早い指の動きはもちろん、年々バチさばきが力強く感じられるのは私だけでしょうか？ まるで、激しい波の音が聞こえるような演奏でしたね。今年は、進行係の子ども達が、急遽、『合いの手役』に抜擢されました。緊張したそうですが、笑顔で頑張ってくれました。上手でしたよ

島内地域イベントで活躍中の『倭寇太鼓富江バラモン会』のみなさんは2年連続の出演でした。数多くの舞台を踏まれている実績はさすがです。



体全体を使って表現し、体の奥深くまで響き渡る太鼓の音は、会場全員の心を揺さぶります。複数の奏者が異なるリズムを刻みながらも、一つの音楽を作り上げていく様子は、まさに圧巻でした。

三味線と太鼓は、日本の伝統芸能において非常に重要な役割を担う和楽器です。これらの楽器の音色に触れ、日本の豊かな文化を体験できる私たちは本当に幸せですね。

〈黒瀬デイサービスさんとの交流会〉

最初の企画は去年でしたが、どうしても日程が合いませんでした。今年も無理かなと思っていたところ、川邊さんの計らいで日時や移動の調整ができ、2年越しで実現することができました。

一緒に七夕飾りを作ったり、願い事を短冊に書いたりして、楽しい時間を過ごしました。花笠音頭も披露できました。

「どんなふうに話そうかな…」「何を準備したらゆっくりと過ごしてもらえるかな…」

そこには、世代を超えた貴重な学びの機会がありました。

